

道母連代表で発表の  
東佳子さん

第67回東北・北海道地区  
母子寡婦福祉研修大会に  
参加して

開催日 令和5年9月2～3日  
場所 秋田キャッスルホテル  
函館市母子寡婦福祉会  
東佳子

本大会の研修討議では道母連代表として「目標そ自立、活かそ支援策」とのテーマで発表させていただきました。助言者の方からは、多様な制度がある中で自分の状況や思いに合った制度を見つけて活かすことが出来て良かった、子育てしながらの資格取得への配慮として託児利用できるものがあること等、私自身はもちろん、研修に参加されている方々にも参考となる助言でした。

今回の研修大会のメインテーマは「つなごう人の輪、守ろう地域

の輪」でしたが、研修に参加させていただけ度に、同じ志や環境、そして経験からのアドバイスや励ましを受けたことがあります。「参加してよかったです!」と思っていました。各地域の活動や取組みを聞くことは、自分の地域で必要とされていることは何なのか、どうすれば助けを必要としている人に必要な支援を届けることが出来るのか、今、自分たちに出来ることは何なのかということのヒントや具体的な策を得ることが出来ます。何よりも、人の温かさに触ることで元気と勇気をもらうことがあります。国や地域、そして一人ひとりがそれぞれの役割を考え、人と人とが思いやりの気持ちでつながろうと行動すること、今、自分が出来ることを小さな一步で良いので踏み出すことから始まると思います。

本大会の研修討議では道母連代表として「目標そ自立、活かそ支援策」とのテーマで発表させていただきました。助言者の方からは、多様な制度がある中で自分の状況や思いに合った制度を見つけて活かすことが出来て良かった、子育てしながらの資格取得への配慮として託児利用できるものがあること等、私自身はもちろん、研修に参加されている方々にも参考となる助言でした。

今回の研修大会のメインテーマは「つなごう人の輪、守ろう地域



道母連から参加の方々 東北の方々も一緒に

に参加させ  
ていただき  
度に、同じ  
志や環境、  
そして経験

令和5年度全国母子寡婦  
研修大会に参加して

開催日 令和5年11月18・19日  
場所 長崎県佐世保市

安平町母子寡婦会

鳥越真由美

4年振りに一堂に会した開催となる研修大会参加について報告いたします。一日目は地元九州文化学園吹奏楽部の演奏に始まり、開会式、行政説明、研修討議。二日目は障がい者支援事業運営の南高愛隣会理事長で医師の田島光浩氏による講演、大会宣言・決議、地元佐世保市の3チームによるよさこい演舞、閉会式では次回開催地・

富山県からの挨拶で閉幕しました。

- ①行政説明・こども家庭
- ・こどもに直接届く支援等を拡充

②研修討議・発表（6名）

〔総評〕コーディネーターによる

- ・活動において青年期は支援の提供者であることを伝えていく
- ・こどもの意見（思いや願い）を聞く環境形成が必要

③講演・田島光浩氏

④参加者の状況

- ・道母連所属団体からは6名参加
- ・高齢者が多かった

⑤地区研修大会を兼ねている状況

（次年も）に毎年開催が必要なのかとの疑問を感じた

・当事者団体としての責任。制度

活用には行政（自治体）との協力体制が必要と改めて感じました。



講師の田島光浩氏



地元佐世保市のよさこい演舞